

**令和 7 年度第 1 回自立支援協議会テーマ別部会
障がいのある方と防災について 議事要旨**

1. 開催日時 令和 7 年 8 月 29 日（金） 10 時～11 時 30 分

2. 開催場所 まちづくり活動プラザ 1 階会議室

3. 出席者 （委員）＊団体名のみ記載

浦安市肢体不自由児・者親の会「どっこらしょ」、浦安市聴覚障害者協会
（福）敬心福祉会、（福）千楽、（福）佑啓会、特定非営利活動法人あいらんど
（一社）タントリーブス、障がい事業課、障がい福祉課
（事務局）浦安市基幹相談支援センター

4. 議事次第

1. 開会

2. 議題

（1）令和 7 年度の部会を始めるにあたって（事務局よりテーマ別部会及び令和 6 年度の本部会の議論をまとめた提言書内容についての説明）

（2）自己紹介

（3）プロジェクト構成と内容についての意見交換

3. 閉会

5. 配布資料

- ・ 次第
- ・ 令和 6 年度テーマ別部会「障がいのある人と防災」提言書
- ・ 委員名簿

6. 議事要旨

1) 令和 7 年度の部会を始めるにあたって（事務局よりテーマ別部会及び令和 6 年度の本部会の議論をまとめた提言書内容についての説明）

事務局よりテーマ別部会発足の経緯及び本部会が地域課題解決にむけて委員皆で成果目標達成にむけてのプロジェクト型の部会であることを説明。

2) 自己紹介（以下、主な内容まとめ）

- ・ 昨年度も本部会に参加して、事業所の防災の取り組みに活かすことが出来て、自身の勉強にもなり、刺激をもらった。
- ・ 法人規模が小さいことから、職員一人ひとりが高い防災意識を持つことが重要だと思う反面、どこからどこまでの備えが必要なのか、皆さんの意見も聞きながらヒントを得たい。自組織の防災体制の見直しに活かしたい。
- ・ 指定福祉避難所であるが内容が伴っていないという問題意識がある。東日本大震災の時の教訓、

対応（被災者への入浴支援等）から、近隣事業者との協力体制を構築した。本部会にて実効性が伴った備えを講じていきたい。

- ・昨年度は、当事者に必要な合理的配慮について意見を述べた。今年度も防災について色々な気付きを得ていきたい。

- ・令和6年度の提言書に記載した備蓄品整備、電力確保などの進捗状況の確認やより深い議論をすることができればと思っている。

- ・福祉避難所開設マニュアル作成に取り組み、その完成を目指しているところである。本部会での議論をマニュアル整備に活かしていきたい。

- ・個別の避難計画の作成が進み、その活用について課題が多いと感じている。本部会は事業者、当事者の方が一同に会して議論をする貴重な機会にて、皆さんと意見交換をしていきたい。

3) プロジェクト構成と内容についての意見交換

〔個別の避難計画について〕

①作成を必要とする対象者

②誰が作成するのか

③記載する内容

④個別の避難計画の情報共有

⑤個別の避難計画は、当事者の方がどこにいるときに災害が発生するかによって避難先、避難経路が違って来るが、それに対応できているか。

〔上記関連事項〕

④-1 事業所で行っている避難訓練との整合性を取る必要は無いか。（避難先、避難ルートが違って来るか）

④-2 自事業所（福祉避難所）が避難先となっている対象者を知るために必要（受け入れに準備必要）

〔福祉避難所開設について〕

①福祉避難所開設の指示はどのような方法で事業者へ届くのか

②福祉避難所の守備範囲（対象者、開設期間、地域住民受け入れ）

③連絡手段の確保

④備蓄品管理や整備の課題（個別性への対応には限界がある）

⑤他事業者との連携（避難者受け入れの限界に達したときの対応策⇒どこに連絡して、どこの場所が代替え避難所となるのか）

〔上記関連事項〕

②-1 市の方針未確定。暫定的には、自事業所の通所利用者を対象とした福祉避難所開設定（通所事業所開設時間帯であればOKであるが、災害が閉所時に発生した場合は必ずしもそうではない）

②-2 地域の方が避難してきたら断れない

②-3 災害長期化した場合、一般避難所と福祉避難所の連携体制は？

事務局が委員からの意見を集約、分類化を行った上で、個別の避難計画についての説明及び活用等の意見交換を行い、部会でのテーマ、成果目標の焦点化を行うことを確認して閉会。